

## 流れ図

### 明日テストで理解度確認

過去問で捨てようと思っているもの以外の問題は大丈夫だが、一つだけ、多分忘れるから記載  
特定の要素との関係性を表現しているもので、「 $a=2b$ 」などの表現は左右の値が等しくなるようになっているということ。  
すなわち「 $a$ は $b$ に2をかけた値と等しい」と表現されている

リスト構造の問題に対する考え方

最後尾のリストを削除する

- 最後尾の前のノードを参照してから、ネクストポインタを削除する必要がある

最後尾の挿入

- 最後尾のノードを探せば良いので、末尾ポインタを参照することで、探すことが可能になる

二進数によるマイナス表現では理解できない部分もあるが、基本情報の段階では以下のステップを踏むことで表現された結果がマイナスということを覚えていけばよい

- Step1 反転させる この時の数値の状態を1の補数
- Step2 1を足す この時の数値の状態を2の補数

2の補数にすることでマイナスとして表現されたことになる

特定の値から、マイナスの値を求める際は、上記のステップの逆を実施することで表現が可能

例：1111を10進数のマイナス表記で表すと何になる？

1. 1111 から1を引く
2. 1110 を反転する
3. 0001を10進数にする
4. 1に-をつける

1111は10進数マイナス表現では-1となる

※マイナスで表現する時のもう一つの条件で、先頭が1になっているかそうでないかも考える。先頭が0であれば、ステップを踏まずにそのまま計算してプラス表記で良い